

「大学生のためのお金の教室～今から考えよう！入社してからのマネー管理！」

ファイナンシャル・プランナー 江尻 正幸

2012年4月に入社される方は、その日まで4ヶ月を切りました。そういった方々は、卒業論文や仲間との思い出作り、就職後に必要となる知識の習得などに取り組んでいらっしゃるでしょう。

一方で、新しい環境に対して不安を抱いておられる方も多いかもしれません。仕事内容や人間関係など、気になることはたくさんありますが、お金との付き合い方も、学生時代とは異なったものになります。

そこで今回は、入社して忙しくなってしまう前に考えておきたいお金のことを取り上げていきます。

精神的にも時間的にも余裕を持てる今の時期に、お金のことと向き合うことで、4月以降にこのことで悩むリスクを避けましょう！

【質問】

入社前に考えておくべきお金のことなんて、ありますか？

入社後に説明を聞いてからでも、遅くはないのではないかと思います。

(佐々木さん 2012年4月より新社会人 独身寮に入居予定)

【回答】

佐々木さんのおっしゃる通り、入社後に具体的な説明がなされることを待つ方が多いでしょう。また、学生時代のアルバイトと異なり、毎月ある程度決まった金額の給料を頂けることから、むしろ何もしなくても良いのではないかと考えるかもしれません。

今回は、以下の3つのポイントに絞って、入社後のマネー管理について考えていきましょう。

今から考えたい3つのポイント

①最初の給料日までの生活費は大丈夫？

②持株制度、独身寮など会社の制度を学ぼう！

③確定拠出年金の仕組みを知ろう！

①最初の給料日までの生活費は大丈夫？

まず、最初の給料日までの生活費は確保しておきましょう。特に、実家から離れて暮らす

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

佐々木さんのような方や、親族からの仕送りが望めない方は、この点に留意しておくといいでしょう。

3月は旅行や寮などへの引っ越し、場合によっては研修が行われるかもしれないので、アルバイト代は期待しない方が無難でしょう。こうなった場合、3月のアルバイト代だけでは、入社してから最初の給料日までぎりぎりの予算の中での生活を送らないといけなくなってしまう可能性はありませんか？

こう考えると、最初の給料日までは困らない程度の預金が必要だとわかりますね。

●現在の預金残高と、入社までの出費を比べてみよう！

「12月の時点では預金残高がしっかり確保されているから大丈夫！」と佐々木さんは感じられるかもしれません。

しかし、これからクリスマス、年末年始、最後の春休み、卒業式など、入社前にはイベントがたくさんあります。また、場合によってはスーツや革靴、仕事用のかばんなどを買い揃える必要があるでしょう。佐々木さんの場合、独身寮への引っ越し費用や、その部屋のつくりに合わせて家具などを購入しなければいけないかもしれません。

このように考えると、12月時点での預金残高なんて、さほどあてにならないと思いませんか？

②持株制度、独身寮などの会社の制度を学ぼう！

また、これから働く会社の制度にはどのようなものがあるかを確認し、知らない制度がある場合は、事前に調べておきましょう。

これらの制度について、4月に人事部などから説明が行われることが殆どですが、どのような制度なのか丁寧に教えてくれるかはわかりません。この場合、その場ですぐ理解することは難しいかもしれません。

●では、どのような制度が考えられるのでしょうか？

たとえば、従業員による持ち株制度。

これは、従業員自ら勤める会社の株を給与天引きなどで購入する制度のことです。

佐々木さんが入社する会社には、この制度はあるのでしょうか？

購入するかは佐々木さん自身の判断に委ねられますので、ここでその点は論じません。

しかし、もし導入されているならば、その入社する会社の株価は今いくらだろうかと、これまでどのような価格推移をみせてきたのか、といったことを調べてみるといいでしょう。株価の動きを見ていくと、その企業のこれまでの歴史に触れることも出来ます。

また、通常の株取引とは売却時などの手続きが煩雑になることが多いので、そういった面も踏まえて制度の活用を検討しましょう。

また、佐々木さんが住む独身寮の1ヶ月の家賃や光熱費について、事前に質問しておくならば、毎月の給料からいくら自由に使えるかを考えておくことも出来ます。

20代のうちに遊びも自己投資もしたいけれど、預金や運用も考えておきたいと考えていらっしゃるでしょうか？

そうならば、家賃や光熱費などを想定し、自由に使える金額と貯める・運用する金額にある程度の目途をつけておくと、メリハリの効いたお金との付き合い方が出来るでしょう。

③確定拠出年金の仕組みを知ろう！

企業によっては確定拠出年金を導入しているケースもあります。401Kという言葉聞いたことがあるかもしれません。個人型や企業型など、いろいろと複雑な仕組みになっています。

その仕組みの中でも大事なポイントの一つとして、確定拠出年金とは、あなた自身が老後に備えて毎月一定額を運用にまわし、自らそれを運用することになる、ということです。もし入社先が導入しているならば、運用について学ぶためにセミナーに参加したり、FPに相談したりするとよいでしょう。

せっかく確定拠出年金という制度が導入されていても、わからないからとりあえず定期預金に全額預けっぱなしでそのまま放置する、もしくはよく理解もせずリスク商品に手を出す、といったことは避けたいものです。

●最後に・・・

ここまで考えてきたように、社会人になる前の期間にマネー管理について考えておくことで、4月以降新たな環境に身を置いたとしても、お金のことで思い悩むことはある程度避けられるでしょう。

こうして、過度な節約や見えない不安にとらわれない、お金との賢い付き合い方を学び、社会人生活を楽しんでいきましょう。

そして、無事に初任給を頂けたならば、家族にプレゼントを贈ってみてはいかがでしょうか。